

ふれあい

治田小 学校だより

2023年9月13日

栗東市立治田小学校

NO.14

体験・経験することの大切さ

夏休み中の8月23日（水）・24日（木）の2日間、5年生の子どもたちが、学習船「うみのこ」に乗船し、びわ湖や滋賀県的环境等について学ぶフローティングスクールに行ってきました。ここ数年は、コロナウイルス感染症のために日帰りでの学習でしたが、今年度は以前のように1泊2日での学習を行うことができました。その時の様子をお伝えします。

《1日目：避難訓練》



船内放送を聞いて、救命胴衣を着用し、3階甲板に避難しました。

大切なことは、学校での避難訓練同様、「押さない」「走らない」「しゃべらない」「もどらない」です。

甲板についたら、班ごとに整列をし、先生に人数報告をします。救命胴衣を着ての避難は初めてのことでしたが、上手に非難することができました。

《湖の子の夕べ》

県立草津養護学校、治田小学校、両校の学校紹介をしました。司会は、治田小学校の代表児童が行いました。学校紹介の後には、各活動場所に分かれて、「ポッチャ」を楽しみました。



《2日目：びわ湖環境学習》



顕微鏡を使って、プランクトン等の観察を行ったり、びわ湖に棲む魚を観察したり、びわ湖の水の透視度調査を行ったりしました。実際に、目で見たり、においを嗅いだりしながら、自分の「手や目等の五感」を使って学びました。

★このように、体験・経験をすることで、子どもたちはより大きく成長していくと考えています。これからもこのような機会を大切にしていきたいです。 校長 田中 覚